授業者 T1 近江 由佳 T2 荒井 涼子

1 題材名 Program4 リサイクル活動 (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1)

2 目 標

- 疑問詞 what を用いて相手に何をするのかをたずねたり、How many~?を用いて数をたずねたり することを通して、文法の意味や用法の確実な定着を図る。 (たしかさ)
- 疑問詞 what や How many~?を正しく用いて相手に必要な情報をたずねようとする力を育てる。 (ゆたかさ)
- 間違いを恐れず、積極的に英語を使おうとする態度を養う。

(たくましさ)

3 授業展開において

(1) 教材観

地域を挙げて行うリサイクル活動が全国的に盛んである。本題材では、大事な資源を再活用したり、 結果的にだれかの役に立ったりするリサイクル活動を通じて、環境保持や身近なものに対する意識を 高めることをねらいとしている。また、本題材においては、what で始まる疑問文、複数形、また数 をたずねる表現として How many~?を言語材料として取り扱う。いずれの言語材料においても、小 学校での外国語活動において活用した経験のある文法事項である。その経験を生かし、その疑問詞を 用いた対話表現の深まりや、活用のみにとどまってきた名詞の複数形の概念の定着を図る。

(2) 生徒の実態(在籍 男子*名,女子*名,計*名)

本学級は、明るく元気な学級である。英語科の授業においては、友達と協力し、積極的にコミュニケーション活動に取り組む姿が見られる。 (平成26年*月*日 *名実施)

1	あなたの好きな学習形態はどれですか。	ア		イ	ウ		工
1	ア 個人 イ ペア ウ グループ	*		*	*		*
9	次のどの力を最も身に付けたいですか。	ア		イ	ウ		工
2	ア 聞く イ 読む ウ 話す エ 書く	*		*	*		*
	相手にテニスをするかどうかたずねたいとき、英語では	正	答	誤	<u></u> 答	魚	無答
3	どのように表現しますか。						
	解答例)Do you play tennis?	^	k	;	*		*
	英文を聞いて、適切な答えを、次の日本文から選んでく	ア	イ	Ţ	フ フ	エ	オ
	ださい。						
1	読まれる英文)How many CDs do you have?						
$\mid 4 \mid$	ア 2500円です。 イ 「レットイットゴー」です。	*	*	>	*	*	*
	ウ 3枚です。 エ はい, 好きです。						
	オ TSUTAYAです。						

アンケートの結果から、生徒同士での関わりの中で学習を進めたいと思っている生徒と、個人での学習を進めたいと考えている生徒で学習形態に対する好みが二分されていることが分かった。一方で、ほとんどの生徒が自分で表現する力を身に付けたいと考えていることも分かった。言語材料についての生徒の実態としては、小学校の外国語活動で経験した How many~?を用いた英文を聞いて、何をたずねられているか理解できる生徒が多くいたが、中学入学後の既習表現が十分に定着しておらず、求められている場面や状況に応じて適切に活用できていない生徒が多いことも分かった。

(3) 教育観

生徒の実態から、個人とグループの活動形態を活動内容に即して効果的に取り入れ、生徒の学習に対する集中力やリズムのある授業展開を図りたい。また、小学校での外国語活動での経験をうまく生かしながら、活動に対する抵抗感をなくすだけでなく、繰り返しの活用を通して言語材料の確実な定着を図りたい。

4 題材の評価規準

起的 0	つ評価規準			
	ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語の表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
題材	・間違うことを恐れ ず積極的に what	・自分の考えや事実を 英語で正しく話して	・英語で書かれた内容を正しく読み取	基本的な強勢やイントネーションの
物の評価規準	や How many~? を用いてコミュニ ケーション活動を 行ったり、発表し たりしている。	いる。 ・場面や状況に応じて 英語で適切に話して いる。	っている。	違いを理解し, what や How many~?の運用に ついての知識を身 に付けている。
活動に即した評価規準	 ① what や How many~?を用いたコミュニケーになった。 ②本がに、積極的に活動している。 ②本文を読む際、ないる。 ③間違うことを恐れずに、積極的にするを話している。 	①what を正しく用いて、相手にその日の投業についてたずされたり、状況にふさされたり、表現を用いる。②名詞の複数形のの数形のの数形のの数である。③How many~?を取り、多をでずねたりしている。	①3人の中学生が日曜日に何をするのかといった大事ではいった大郎の切りでする。②割の後期では、知識を正しく、のでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは	①基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。 ③what や Howmany~?の運用についての知識を身に付けている。英語で書かれた内容を正しく読み取っている。

5 授業計画(6時間扱い)

1///		(0 时间10人)		
次	時	授業のねらい	主な学習活動	活動に即した評価規準
	1	○what で始まる文と応答の形・意味・用法を理解し、表現する。	・what を用いて、相手にその日にどん な教科を学習するのかをたずねるイ ンタビューゲームを行う。	ア - ① O1 - ① エ - ②
	2	○what を用いた対話文 を理解する。	・本文を音読し、マイクは由紀に対してどのようなことをたずね、どのように答えたかを読み取る。	ア - ② Oウ - ① エ - ①
_	1	○名詞の複数形の作り方 を理解し、2人(2つ) 以上の人(もの)を表 現する。	・名詞の複数形を用いて、自分の兄姉 や飼っているペットについて、相手 に伝わるように表現する。	ア - 3 Oイ - 2
	2	○リサイクルデーについて理解する。	・基本的な強勢やイントネーションの 違いについて理解しながら本文を音 読し、リサイクルデーに3人の中学 生は何をするのかを読み取る。	ア - ① ○ウ - ② エ - ①
Ξ	1 本時	○How many~?の用法を 正しく理解し、相手に 数をたずねる表現をす る。	・How many~?を用いて、相手に動物園にはどのくらいの動物がいるのかをたずねたり、それに適切に答えたりするインタビューゲームを行う。	ア - ① Oイ - ③ エ - ②
	2	○リサイクルデー当日の 対話を理解する。	・基本的な強勢やイントネーションの違いについて理解しながら本文を音読し、3人の中学生のリサイクルデー当日の対話を読み取る。	ア - ② ○ゥ - ③ ェ - ①

6 本時の学習

(1) 目 標 動物の数をたずねる活動を通して、How many~?の用法を正しく身に付け、運用する力を付ける。

(2) 主な評価規準と支援策

主な評価規準(評価方法)	十分満足できる状況(キーワード)	満足できる状況へ引き上げるための手立て
・How many~?を正しく用いて,動	イ How many~?を用	身近な言語材料を適切に用
物の数をたずねたり相手に事実を	いた適切な発話	いて、意欲的にコミュニケーシ
伝えたりする表現をしている。	ア 言語活動への積極的	ョン活動ができるようにする。
(イ 表現の能力)	な取り組み	ティームティーチングを生か
(観察)	エ How many~?につ	して、つまずきのある生徒に寄
	いての正確な知識	り添って基本表現をくり返し
		練習して、その表現の定着を図
		る。
(a) 3/4-14 /m/n 20 h d 1. 10	1 1 10 H L1	1 02 22

		(つ)	
(3) 準備・資料 ピクチャーカード,	フラッシュカード, ワークシート	, ベル, タイマー
(4) 展開		
	学習活動及び内容	授業者の活動(・)と	:評価の視点 (龠)
	于自伯勒及UY1台	T1	T2
	1 Greeting	・顔をあげて大きな発声を促し、	元気なあいさつから英語学
		習の雰囲気作りをする。	
	2 Warm-up	・ジェスチャーをつけてリズムに	・机間指導を行い,音読に
	· Rap'n routine	のって暗唱するよう指示する。	つまずきのある生徒と共
	日常生活で用いる表現のインプッ	生き生きとした発声とジェス	に発声し、支援する。
	トを行う。	チャーを促す。	
	3 Introduction of new materials	ピクチャーカードを用いて、	内容理解につまずきのあ
	(1)Introduction of today's target	視覚に訴えることで、単語や	る生徒には個別に支援す
		文のスムーズなインプット	る。

を促す。

めたい。

- 間友達の持ち物の数をどのよ うにたずねればよいだろう。
- 例How many を正しく用いて 表現できる。
- (2) Explanation of new material (3)Pattern Practice
- 4 Communicative Activities (1)Interview game
 - How Many Animals?

(2) Sharing the result

How many lions do you have? We have four lions.

- 5 Consolidation
- (1) Self-evaluation
 - ・How many を正しく用いて 表現できたか。
 - ・積極的に活動できたか。
- (2)Announcement for the next class

リサイクルデーの日, どのような 対話がされているだろう。

(3)Farewell

・How many の後や答えの中 で名詞の複数形 (s, es) に 気づかせる。

パタンプラクティスはテンポ

よく行い,生徒の集中力を高

・2対2のペアグループでゲームを行い、互いに支援しなが ら学び合いを促す。

パタンプラクティスや基

本文の練習の際には,大

きな声ではっきりと発音

するよう促す。

- ・生徒とともに活動しながら、対話につまずきのある生徒を 支援する。
- ・表裏を使って、生徒のレベルにあったワークシートを作り、 個々の生徒が自分で選択して使用できるようにする。
- 顧努力を要する状況にあった生徒の中で、How many∼?を 用いて友達と協力しながら、相手に動物の数をたずねるこ とができた場合には、評価を上方修正する。
- 翻おおむね満足している生徒の中から、How many~?の用法 を正しく理解して、友達を積極的に支援しながら活動できた 場合は、十分満足できる状況として評価する。
- ・静かに落ち着いた雰囲気の中で自己評価を行うことができ るよう配慮する。
- ・次時に学習する本文の内容につながるヒントを与え、生徒 の興味を起したい。

The party

	•
A: How many	s do you have?
B: I have ()(s)
_allígators	
⊒came!s	Сомз
_lelephants	□giraffes
_]gorillas	□horses
]koαlas	□lions
⊒monkeys	□pandas
⊒penguins	□tigers



Fow many ?

□pelicans

∐kangaroos

∐zebras

Swans

∏ducks

_snakes

□foxes

□hippopotamus

Deacocks

□rabbits



